
学校給食・食育分科会

I 研究のあゆみ

4月20日(木)	2023年度名教組教研オリエンテーション (2023年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月2日(火)	発表テーマ報告・集約	
5月17日(水)	研究計画の検討	【教育館】
5月下旬～6月下旬	全体での会は開かなかったものの、個別に指導	
7月26日(水)	研究内容の検討 (第2次実践の検討と研究の発表の仕方)	【上名古屋小】
8月29日(火)	市集会発表内容の検討(リハーサル)	【教育館】
9月16日(土)	第73回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウイंकあいち】

II 研究協議の概略

今年度、学校給食・食育分科会では、「好き嫌いの克服」「バランスのよい食事について考える」「食への関心を高める」「食品ロスの削減」「味わって食べること」等をテーマとした実践が9本報告された。

子どもたちの食への興味・関心を高める手立てや、子どもたちが食に関する課題を自分事として捉えることができるような手立て、子どもたちが主体的に課題解決に向けて学習できるように工夫された手立てなど、ICTの活用だけでなく、体験活動を効果的に取り入れた食に関する指導が行われていた。また、日常的な活動に家庭との連携を図ったり、ICTを活用して国際的な交流を行ったりするなど、子どもたちの学習に広がりや深まりをもたせる工夫も紹介された。

意見交流では、「思い出の給食エピソードは？ ～給食っていいね！～」をテーマに、参加者が体験したエピソードを紹介し合うことで、学校給食の様子やその魅力について、楽しい雰囲気でも共有することができた。

III 今後に残された課題

- 実践を広めたり、保護者との連携を図ったりして、より効果的な学習を進めていくためにも、実践の概要や様子について知らせる「情報発信力」が求められる。
- これまでより、さらなる広がりや深まりのある学習にするために、ICTの活用だけでなく、子どもたちが本物にふれる体験活動を取り入れることが効果的である。
- 更なる食育の充実に向け、教科横断的なカリキュラムマネジメントの視点で活動することが望まれる。